

英国日産自動車製造会社(NMUK) サンダーランド工場で コマツ産機の「大型サーボプレスライン」が稼働開始

英国サンダーランドの英国日産自動車製造会社(NMUK) に納入されたコマツ産機の大型サーボプレスライン「H4FTL5200」が2017年2月に稼働開始しました。

本機はルノー・日産アライアンスで初めて導入されるサーボプレスラインとなります。5,200トンの加圧能力を備え、同工場では最速かつ最大の生産能力を有します。フル稼働時には、年間250万枚のパネルを生産する事が出来ます。

H4FTL5200 または当プレスラインは、振子フィーダの採用により従来のタンデムプレスラインと比べ、生産性を大幅に向上させることが出来ます。また、サーボダイクッションにより、従来の空油圧式ダイクッションでは困難な高難度成形や工程削減が可能です。さらには、最適な搬送プログラムを自動演算するコマツオリジナルのソフトウェアを導入し、生産速度の最適化による高生産性を実現しています。

このプレスラインで生産される部品で電気自動車「リーフ」「ジューク」をはじめ、SUV「キャシュカイ」「インフィニティ Q30/QX30」などが組み立てられます。

